

令和5年度第2回浅口市総合教育会議議事録

1. 招集日時 令和5年11月21日(火)
2. 場 所 中央公民館 2階 大講義室
3. 開 会 午後1時45分
4. 閉 会 午後2時50分
5. 出席者 市長 栗山康彦 教育長 中野留美
教育委員 高戸 崇 教育委員 藤澤弘幸
教育委員 佐藤賢次 教育委員 吉田英子
6. 説明のために出席した者の氏名
教育次長 難波勝敏 教育総務課長 瀬良昌弘
学校教育課長 池田一成 保育未来課長 笠原清美
学校給食センター課長 安原直子 教育総務課 平井恵美子(事務局)

7. 議事の概要

教育次長 令和5年第2回浅口市総合教育会議の開会を宣する。

次第2 市長挨拶について

市 長 本日は大変ご多用の中、第2回総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。世の中水不足で晴れの国を自慢できない厳しい状態である。いつも申し上げている通り、総合教育会議は、我々市長部局と教育委員会部局がお互い意見を出し合い、より良い教育を考えていく会である。協議題は、学校給食費の公会計化についてを予定している。これは、各学校で先生の意見を聞く機会があるが、必ず出てくる問題である。いろいろな視点からの忌憚のない意見をいただければと思う。

教育次長 次第3 協議題について

浅口市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長に議事進行を求める。

市 長 浅口市総合教育会議運営要綱に基づき、議事進行を行う。

協議題 学校給食費の公会計化について
事務局に説明を求める。

学校給食センター長 資料により説明する。

学校給食費の公会計化について、経緯の確認と最近の動向を説明する。平成31年1月の中央教育審議会答申にて、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」において、「学校給食費については公会計化及び地方公共団体による徴収を基本とすべき」とされ、文部科学省は「学校給食費徴収・管理に

関するガイドライン」を作成し、学校給食費を地方公共団体の会計に組み入れる「公会計化」の実施と、学校給食費の徴収・管理を地方公共団体の事務とすることを推進するとしている。

また、同省は、令和5年8月31日付けの通知にて学校給食費の公会計化等の必要性とその実施に当たっての留意事項を改めて示し、公会計化等の実施に向けた検討を計画的に進めるよう要請した。この時に令和4年度学校給食費に係る公会計化等の推進状況調査の結果を公表した。令和4年度5月1日時点での公会計化の状況であるが、「実施している」が34.8%、「準備・検討している」が30.4%で、この合計が65.2%であった。岡山県内では「実施している」が6市町村、「準備・検討している」が15市町村、合計で21市町村で80.8%であった。「準備・検討している」15市町村のうち、6市町村が来年度及び再来年度での公会計化の実施を予定していると聞き取っている。今回の通知で、今までより、より計画的に進めることを強く通知をしたということである。

これらのことに伴い、本市でも、学校給食費の公会計化及び徴収・管理事務の教育委員会事務局への移行について検討を進めないといけないと考えている。

現在の給食費の流れについてだが、給食センターが給食会計を持っている。学校が保護者から給食費を納付してもらい、保護者からの給食費を学校が管理している。月末に食数を計算し、金額を給食センターが学校に請求し、給食会計へ振り込みをお願いしている。給食センターがその入金から、食材の支払いを行っている。学校は給食の食数、牛乳欠食等の管理をしており給食センターに報告してくれている。

給食費の公会計化とは、給食費を市の会計に組み入れることで、保護者から徴収する給食費を市の会計に歳入し、食材費を市の会計から支出し、業者へ支払いを行う。学校は、給食費を管理する仕事が減る。食数及びアレルギー等の管理や教育委員会への報告はそのまま残ることになる。

公会計化により見込まれる効果と課題について、1つ目は、教員の業務負担の軽減である。給食費の徴収・管理、未納者への対応をする必要がなくなり、授業改善のための時間や児童・生徒に向き合う時間を増やすことができる。課題は、15校園が行っている業務を教育委員会事務局へ一本化することになるので、事務局の業務負担が増える。事務局における体制整備、人員の確保、適切な業務配分等が必要になる。先進地に確認したところ、準備段階には3人の職員で当たっており、専任ではなく、兼務で行った

ということであった。実施してからは、主担当の職員1人、会計年度職員1人で行っているとのことであった。

2つ目は、保護者の利便性の向上、市の指定金融機関のいずれからでも給食費の口座振替が実施できるようになる。また、納付書ではコンビニエンスストアでの納付が可能である。課題は、口座振替やコンビニ納付の手数料の支払いが発生するため、予算を確保する必要がある。口座振替手数料は、年間約74万円、コンビニ納付の手数料は約23万円、両方を合計すると約97万円と試算している。

3つ目は、学校給食費の徴収・管理業務の効率化、各学校等で行っている給食費の徴収や管理業務を集約し、給食費を管理するシステムを導入することで、業務の効率化が図られる。

課題は、児童生徒等の口座情報や食数を管理できるシステムが必要であると考えているが、システム導入経費及び維持管理費の確保が必要になる。また、導入するシステムをどのようなものにするかの選定や構築を行う必要がある。ある事業者から提案をもらっているが、初年度が約1,290万円、次年度からは、約1,240万が掛かる試算となった。基本のシステム使用料と、口座振替の手数料で約870万円、未納者への催告書を作り、送付等する金額、初年度は口座等情報入力費用、次年度以降は、新入生が約300人入るので、その入力費用も含めた金額である。どこまでを含めるのかも検討課題である。

4つ目は、学校給食費の徴収における公平性の確保が保たれることである。給食費の未納があった場合に、督促の経過に応じて法的措置を取ることが可能になるので、より確実に給食費を徴収することにより、公益性を確保する効果が期待できる。現在は滞納がある世帯もあるが、分納や児童手当から納付頂けている。

公会計化への移行準備として、約2年は掛かると考えている。1年目に、どのような形で公会計化及び徴収管理業務を行うかの方針を決定し、その後教育委員会事務局内の業務体制の整備をする必要がある。関係課と協議する必要がある。システムを導入する必要があると考えられるため、システム導入に係る必要経費を予算要求しなければならない。

徴収方法の検討、口座振替や窓口払いの仕方、未納への対応。また、歳出になるが、給食の食材の調達方法の検討をする必要がある。現在は、給食センターで食材の随意契約を行っているが、公会計化になると、市の一般的に行っている入札と同じような形をとらないといけないので、地元の業者に入札に参加してもらうようにすること等の検討が必要である。

2年目にはシステム業者の選定と導入を行う必要がある。また、継続的に必要な経費の予算要求をする必要がある。給食費の市の会計への組み入れとその予算の要求をする必要がある。

条例や規則の整備を行わなければならない。市が直接、保護者から給食費の徴収を行うため、徴収額等を規定する必要があるからである。

保護者への周知が必要になる。実際の徴収に向けた口座振替及び児童手当等からの天引き等、金融機関との協議や契約など準備をする必要がある。

公会計化、徴収・管理業務についての具体的な検討を始めなければならない。

市長 執行部側として確認したいことがあるが、執行部側の一番の問題点は、金額的な部分であり、私は予算を確保しなければいけない。システムの導入経費、最初に単発で掛かる導入費用について説明がなかったと思うが、その辺りの説明を求める。

学校給食センター所長 先進地に聞いたところ、導入費用が約800万円。また、他の市では導入費用が750万ぐらいであった。

市長 システムの導入経費が大体700万から800万掛かり、維持管理費として年間1,200万円から1,300万円。維持管理するのに毎月100万円払うということか。

学校給食センター所長 説明不足な部分があった。基本にあるシステムを使うだけの金額だと、月額で34万円である。これに口座振替の手数料であるとか、生徒データ入力等を含んだ金額となっている。

市長 その辺りを確認しなければ協議できないと思い確認した。ただ今説明のありました協議題に関しまして、ご意見・ご質問等ありますか。

吉田委員 質問の前にまず、浅口市は給食を幼稚園から始めてくださって、園小中と本当に大勢の子どもに給食を食べさせており、浅口市の負担は大きいものがあると思う。それに対して本当にいつも感謝している。大きいところでは、小学校だけとか、小中だけの市はよく耳にしており、多くの対象の子どもに給食を準備し、厳しい財政の中で子どもに対する食を守っていることに日頃から大変感謝している。この問題が出てきて、確かに方向性としては進んでいかなければいけないという感じがしている。

学校現場としては、公会計化に向けてどのような反応を示しているのか教えて欲しい。

教育長 現在は教頭先生が徴収業務に当たっており、計算等の事務作業は事務職員が関わっている。事務職員は県費事務職員で、大きな負担がある。教師の業務ではなく、自治体の業務という文部科学省

の通知のことは、学校も目にしているし、自治体で行って欲しいというのが主な意見である。

吉田委員 要望はあるということか。

教育長 そうである。

藤澤委員 課題や見込まれる効果に利便性の向上があるが、コンビニエンスストアでの納付は今も使用されているが、これは公会計化による効果としては、あまり関係ないように思うが、どういう効果か。

学校給食所長 今でも税金はコンビニエンスストアで収められるが、給食費は口座振替で納めるようになっており、コンビニ納付は行っていない。

藤澤委員 未徴収が5%と仮定しているが、公会計にするから徴収手数料が増えるというのは関係ないのではないか。システム導入の費用で様々な金額が出てきているが、市の歳入歳出に組み込むわけだから、市民税等を徴収しているシステムに給食費も入れれば、そんなに手数料も掛からないのではないか。要は工夫次第で、システム費用を抑えられるのではないか。全くゼロからコンピュータ用意してということではなく、今使用しているシステムの中に給食費の徴収を入れ、一緒に徴収することはできないのか。

市長 施設予約のシステムの導入など、単体での導入に何千万円も掛かる。そのシステムの維持管理に月々10万から20万円払っている。今現在、市全体として頭を痛めている。これを一つずつ実施し、足し算していくと、10個で10倍掛かる。こういったシステムの維持管理を各自治体がバラバラに行っており、費用が掛かっていっている。国へ共通で組み込んだものがないか要望しているところである。

教育次長 例えば、現在市が使用している住民基本台帳システム等のオプション利用が進んでいけば、解決できるかもしれないので、今後検討する上で、確認していかなければいけない。

佐藤委員 全体的なこととしては、先ほどから話が出ているように、学校からの要望が多くなってきている。文部科学省から公会計化の推進についての要請が再度出てきた。なおかつ県内の市町村で27市町村中15市町村が実施ないしは実施予定という現状を考えてみたら、浅口市も実施を検討していく必要がある。問題はその検討していく中で、具体的な形で内容を検討していく必要がある。そのためには特に経費についての検討、しかもその数字をきちんとした形での検討が必要である。特に出ているシステムのことだが、初期導入にあたっての処理経費というのが避けられない。700万から800万ということだが、今現在、市が持っているシステムがあると思うが、それにサブシステムの的に組み入れて、追加することが可能なんじゃないか。管理システムをシステム設計から作って

いくよりは安上がりじゃないかと思うのだが、そのあたりの検討を今後していただければと思う。

高戸委員 公会計化は検討していかなければならない問題である。藤澤委員も言われたが、現在浅口市が使用しているシステムでの保育料等も徴収しているのではないか。そういったものに組み込んでいくのも一つの方法ではないかと思う。特に今の若い方はほぼ口座から引くような形かと思うので、市の持っているシステムで保育料等を引くようなものの中に追加すれば、あまり保護者にも負担なく、基礎となる部分については学校との協力が必要だと思うが、徴収に関しては今のシステムを十分に活用すれば、新たなシステム導入がなくてもできるのではないかと考える。

市長 私が今までに聞いた中で、公会計化によって先生が担っている業務が全部なくなるわけではない。個人によって食べた給食の食数が月によって違い、それぞれの請求をしなければいけない。食数やその他アレルギー等の管理・報告の業務はすることになる。

学校給食センター所長 徴収事務が市に移ったら、徴収事務は市がするが、食数は学校から報告をもらわないと分からないので、今まで通り学校が行う形になる。

市長 市としての考えだが、この前「こどもまんなか宣言」を行った。子どものためにどうあるべきかということを中心に物事を考え、施策を行っていくということである。先ほどの説明の中に、食材を入札しなければいけないというようなことが出てきた。月に何回かは地元の食材を使うということをしていたと思うがどうか。

学校給食センター所長 はい、月に何回と決めてはいないが、なるべく県内産の食材を使うようにしている。

市長 業者に入札を行う中で、そういったことも疑問に思った。その辺は先進地の状況を何か聞いているか。もし例があるなら教えてもらいたい。

学校給食センター所長 地元の業者から買えるように要綱を別に作って、市の入札とは別に見積もり合わせを行い、購入先を決めている所もあると聞いている。

市長 そういうこともやり方によっては可能だということか。

地元の食材、例えばそうめんであったり、うどんであったりを地元業者でというようなことは、入札となると融通は利かない。正直言ってそれは課題だと思う。ちゃんとできるように考えていかなければいけない。

市長 もう一度、ご意見・ご質問等ありますか。

吉田委員 学校の業務負担の軽減というのがあるが、教頭、事務職が現在は主に業務を行っている。担任が封筒を配って、給食費を集めるこ

とはしていない。長期欠席等があり、食数の計算は行っているが、お金に関して、担任が行うことは浅口市ではない。

市長 担任の先生が直接に給食費の徴収に関わっていることはないという事で間違いないか。

学校給食センター所長 はい。事務が未納者に文書を作って渡す際には、担任の先生から渡していると聞いているが、給食費を預かる事務はしていないと聞いている。

吉田委員 前は行っていた。教頭や事務の負担はぐっと減る。

藤澤委員 学校の具体的な業務を教えてください。

学校給食センター所長 学校での給食費の関係は主に管理職の先生と事務が行っている。事務は給食の食数の管理と、年間での個人の食数管理、食数の給食センターへの報告、給食センターが月単位で給食費の請求を行い、学校が支払をしてくれている。滞納がある場合に保護者に連絡をするのは、主に管理職の先生が行っている。

市長 管理職の先生とは誰か。

学校給食センター所長 管理職とは、校長先生、教頭先生である。

高戸委員 公会計化については、文部科学省から強く要請があった場合は導入をせざるを得ないが、今後としては、まだ導入していない市町も多いので、しっかりと研究なり勉強をして、より経費がかからないやり方、もしかしたら公会計化ではない浅口独自のやり方で、言うような公会計化に近いやり方もあるんじゃないかと考える、全てがこのルールに乗っ取ってやらなければいけないということはないはずである。この公会計化を先ほどの説明のようなすごいお金を入れてシステムを入れて、必要がないシステムを導入してもいけないので、しっかりもう少し研究してみたってからでもいいのではないか。

教育長 システムについては十分な説明ができず、研究がまだまだであった。システムについては、他市で導入していたり、導入研究しているので、新しいものもできてくる、ご意見いただいたように、今あるノウハウを上手に取り入れたシステムを入れる方法等そういった点からも経費節減できる方法をもう少し研究させて欲しいと思う。学校の徴収金の徴収・管理の業務を学校から取る必要性があると思っている。それをいかに上手に取っていける方法があるかを今後また研究していく。

市長 確かに公会計化の方向性としては、多くの自治体の実施を検討しており、浅口市も検討しているのはよく分かる。自治体によって制度が違う。浅口市は、他市がやってないことを取り入れておいることもある。お金をかけてやってる施策もある。

主に校長先生や教頭先生、事務が業務を行っていることを今日確

認できた。システム導入についての費用を聞きたいが、いつも費用対効果を考えているが、もっと研究しないといけないと考える。今の段階では、新しいシステムを入れ、現在使用しているものには組み込めないと理解をしている。

教育次長 例えば、税金の徴収のシステムで今行っている業者が、県内の自治体で導入の事例等あれば、信頼性や安全性も含めて安価になることもある。最初の導入の市になると実験的な部分もあり、経費も高額になる場合があれば、逆も考えられる。まずは導入するケース等、その辺も含めて研究が必要である。

市長 デジタル化を市全体で進めている。導入するシステムは1つではなく、あれもこれもとなると維持管理の費用も必要であるため、予算を圧迫していく。現在国に要望を出しているところである。その他について、何かあるか。

吉田委員 浅口市は、学校を訪問しているが、本当に教職員が多く配置されている。市費で支援員を雇ってもある。すごいなと感心している。学校訪問している中で、午前中は手厚いが、午後は支援が必要な児童・生徒に担任のみで対応していることがある。午後にも支援員をお願いしたい。

教育長 子どもたちの落ち着きは、教育は人なりと言い、人が関わりながらやっている状況であるが、1日ずっとというのはやはり難しい。全体的に人手不足の中で、今の形で来ていただけることは働きやすい状態ではあると思っている。雇用の仕方を工夫しながらしないといけないと思う。

市長 学校の仕事が減れば、職員の仕事が増える。仕事を全部外部に委託するわけではない。

佐藤委員 教育費の予算は、従来の予算の確保をお願いしたい。

市長 教育の予算は一度も減らしたことはない。来年度は義務教育学校の予算もある。電子黒板を体育館で使用したいということで学校先生から要望が出てきている。各学校で保護者と生徒と先生の3者、10校で30回の座談会を行っている。それぞれの立場のご意見を聞いている。そういったことで子どもにはしっかりと予算をつけていく。

市長 その他について、事務局から何かあるか。

教育次長 特になし。

市長 令和5年度第2回浅口市総合教育会議の閉会を宣する。